

## 2019年度事業計画

### <公益財団法人電通育英会の事業目的の確認（定款第3条より）>

この法人は、優秀でありながら経済的理由により修学が困難な、日本国内で学ぶ大学生・大学院生に対する奨学金の貸与・給付及び留学生に対する奨学金の給付を行うとともに、育英に関する調査研究・情報提供および大学生等の人材育成活動に対する助成事業を行い、もって社会を牽引する人材を育成することを目的とする。

### <2019年度事業計画について>

2019年度の主な変更点は、以下の通りです。

- 1) 大学奨学生募集の種別統一（「一般枠」と「芸術枠」の統合）
- 2) 助成事業のエリア拡大

#### 1-1 大学生への奨学金支給事業 <公益事業1>

##### (1) 大学生への奨学金給付「一般枠」「芸術枠」「震災支援枠」（高校時予約採用）

2019年度の大学進学予定者に対して、「一般枠」および「芸術枠」の募集を2018年6月に行ない、同年7月の奨学生選考委員会で一般枠91名（両親がいない2名含む）・芸術枠3名合計94名が内定しました。一浪生の一般枠21名・芸術枠1名合計22名を含めた116名の内定者のうち、2019年4月に当財団指定の大学に入学した者に対し、奨学金の給付を開始します。

「震災支援枠」は、2011年3月11日の東日本大震災で被災した者を対象とした奨学金制度ですが、同年6月の理事会で決議された「特定費用準備資金」からの支出で、2017年度採用をもって終了。

＜給付者総数＞ ※1年生は想定数。

	一般枠	芸術枠	震災支援枠	合計
2016年度採用（4年生）	69名	5名	17名	91名
2017年度採用（3年生）	67名	8名	14名	89名
2018年度採用（2年生）	71名	6名	—	77名
2019年度採用（1年生）	85名	5名	—	90名
1～4年生合計	292名	24名	31名	347名

奨学金（入学一時金30万円・受験等助成金10万円を含む）：

（2019年度予算） 3億2,798万円

（2018年度予算） 3億1,202万円

（2）大学奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付

奨学生が広い視野を持ち、将来、グローバルに活躍できる人材として成長する一助となることを目的に、2014年度に「海外留学・活動支援制度」を開始しました。2019年度も海外留学・活動を希望する大学奨学生に対して支援金を給付します。

大学生海外留学・活動支援金 ：（2019年度予算） 850万円

（2018年度予算） 850万円

1-2 大学院生への奨学金給付事業 <公益事業1>

2013年度採用から、大学院奨学生の対象を当財団の大学奨学生に限定する制度に変更しています。

（1）大学院奨学生への奨学金給付

2019年度の大学院進学予定者に対する募集を2018年2月に行ない、書類選考及び面接選考の結果、10名を内定としました。このうち2名は最終的に就職を希望したため、その後内定を辞退。2019年4月に当財団指定の大学院に進学する者8名（予定）に対し、大学院修士課程2年間、月額8万円の奨学金を給付します。

2019度の給付者総数は、2018年度6名と合わせて14名（予定）となります。

また、2021年4月に大学院進学希望者の募集・選考作業は、下記の通り実施します。  
今回の募集より、対象となる大学3年生が文系と理系の学生となるため、採用数をこれまでの10名程度から30名程度に拡大します。

- ①給付対象： ・当財団の大学奨学生で、書類提出やセミナー参加などの奨学生の義務を果たしていること  
 ・キャリア形成上、修士課程への進学に必然性が認められる者  
 ・成績優秀で、かつ学費の援助が必要と認められる者
- ②給付金額： 月額 80,000円、給付期間は2年以内とする
- ③採用者数： 30名程度
- ④選考方法： 大学3年生を対象に2020年1月に募集し、書類・面接選考を経て、3～4月に理事長が内定決定。翌年4月に当財団指定の大学院に進学した者を奨学生として採用。

大学院生奨学金 : (2019年度予算) 1,344万円  
 (2018年度予算) 1,728万円

## (2) 大学院奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付

奨学生が広い視野を持ち、将来、グローバルに活躍できる人材として成長する一助となることを目的に、2014年度に「海外留学・活動支援制度」を開始しました。2019年度も海外留学・活動を希望する大学院奨学生に対して支援金を給付します。

大学院生海外留学・活動支援金 : (2019年度予算) 150万円  
 (2018年度予算) 150万円

## (3) 大学院留学生（現地採用）への奨学金給付

大学院留学生採用は、現在休止中です。

### <参考>今後3年間の奨学生数の推移

	2019年度	2020年度	2021年度
大学奨学生①	11年目 <b>347名</b>	12年目 <b>346名</b>	13年目 <b>347名</b>
(一般枠)	292名	313名	336名
(芸術枠)	24名	19名	11名
(震災支援枠)	31名	14名	0名
大学院奨学生②	7年目 <b>14名</b>	8年目 <b>18名</b>	9年目 <b>40名</b>
合計①+②	<b>361名</b>	<b>364名</b>	<b>387名</b>

## 2. 奨学生対象のセミナー等の実施 <公益事業1>

### (1) 奨学生全員に対する「奨学生の集い」の実施

毎年恒例の「奨学生の集い」を、2019年度も現役奨学生全員（約360名）、OBOGの参加希望者、大学関係来賓等が一堂に会して、11月に東京で開催します。

- ・講演：未定
- ・開催日：11月16日（土）
- ・会場：電通ホール（予定）

奨学生の集い関連費：（2019年度予算）1,260万円  
（2018年度予算）1,130万円 \*奨学生の交通費含む

### (2) 大学1・2年生セミナーの実施

2019年度も大学1年生と2年生に対して、9月に1泊2日の合宿形態で実施します。汎用的スキルや課題解決力の育成などを目的にグループ討議、プレゼン演習等を行い、次世代人材を育成する一助とします。

- ・1年生対象：ロジカルコミュニケーション研修、2年生対象：課題解決力養成研修
- ・開催日：1・2年生とも9月14日（土）～15日（日）
- ・会場：湘南国際村センター（葉山町）

※3年生は（3）参照。4年生については、3月に開催する「修了生交流会」への参加をもって代替します。

大学生1・2年生セミナー関連費：（2019年度予算）1,140万円  
（2018年度予算）1,022万円 \*奨学生の交通費含む

### (3) 大学院生・大学3年生セミナーの実施

大学院生および大学3年生に対して、セミナーを8月に1泊2日の合宿形態で実施します。2017年度から大学院生・大学3年生同時期に実施し、相互に交流する機会も設けています。

- ・大学院生：奨学生の研究紹介、講師による講演、グループ討議
- ・大学3年生：自己分析とキャリアデザイン研修
- ・開催日：大学院生・大学3年生とも8月24日（土）～25日（日）
- ・会場：クロスウェーブ船橋

大学院生・大学3年生セミナー関連費：  
（2019年度予算）853万円  
（2018年度予算）725万円 \*奨学生の交通費含む

#### (4) 修了生交流会

卒業・修了予定の大学・大学院奨学生を対象としています。奨学生の卒業・修了後の各界での活躍を期待して、当財団の選考委員など来賓出席のもと、「修了生交流会」を2020年3月東京で開催します。

・開催日：2020年3月14日（土）

・会場：帝国ホテル

修了生交流会関連費　：（2019年度予算）　596万円  
（2018年度予算）　485万円　　\*修了生の交通費含む

### 3. 大学教育における人材育成に役立つ調査データ・情報の提供 <公益事業 1>

#### (1) 会報誌「IKUEI NEWS」の発行（年4回）

2018年4月発行号よりリニューアル。「イノベーションで進化する社会を学ぶ」シリーズとして、奨学生や高等教育関係者への有益な情報提供を目的に、会報誌「IKUEI NEWS」を年4回発行しました。奨学生（OBOG含む）、大学関係に加え、全国の図書館、教育研究機関に向けて各号約4,000部を配布。

2019年は、「変わる社会とこれからのコミュニケーション」をシリーズテーマとし、各号の特集は以下の通り。

	発行月	特集テーマ	取材大学
Vol.86	2019年4月	激変時代に、コミュニケーションを問う	名古屋市立大学 他
Vol.87	同 7月	“文化”と“文化”の結び方（仮）	筑波大学 他
Vol.88	同 10月	「あなた」と「私」のスキマを埋める（仮）	未定
Vol.89	2020年1月	思いを伝える“表現”を学べ（仮）	未定

会報誌関連費 : (2019年度予算) 3,100万円  
(2018年度予算) 2,900万円

#### (2) 調査研究

2019年度は、以下3件の調査を実施する予定です。

- ①桐蔭学園 トランジションセンター所長・教授（溝上先生）と共同で実施するトランジションに関する以下の調査  
「高校生・大学生・成人を対象とした、学校から仕事・社会へのトランジション（継続）調査研究」
- ②立教大学（中原研究室）と共同で実施するトランジションに関する以下の調査  
「リーダーシップ教育の効果を縦断研究・追跡調査によって明らかにする」
- ③3年に一度実施（2007年・2010年・2013年・2016年）している「大学生キャリア意識調査（第5回）」を桐蔭学園 溝上先生と共同で行ないます。

調査関連費 : (2019年度予算) 2,300万円  
(2018年度予算) 1,800万円

### (3) 「リーダー育英塾」

2008年より2017年まで10年間実施してきた「大学生研究フォーラム」を発展させ、「高大社連携を意識したトランジション教育改革」を高等学校・大学で推進していく「次世代リーダー」の育成を目的に、2018年より少人数の参加者によるワークショップ形式の「リーダー育英塾」を開始いたしました。第2期は以下の通り、開催する予定です。

#### 「第2期概要」

- ・日程／2019年8月17日（土）～19日（月）＜2泊3日の合宿＞
- ・会場／クロスウェーブ船橋（船橋市）
- ・募集対象者と人数／教育現場を持っている、高校または短期大学・大学の関係者30名
- ・募集方法／3月下旬より電通育英会ホームページにて募集を開始予定（事前課題有）。  
応募締め切りは4月末予定。選考は下記講師およびファシリテーター。
- ・参加費／ 無料（ワークショップ・宿泊・食事・懇親会にかかわる費用）  
※現地までの交通費、会場でのOA備品等のレンタル等、個人にかかわるものは自己負担
- ・講師およびファシリテーター／  
溝上 慎一（桐蔭学園 理事長代理／トランジションセンター 所長・教授）、  
中原 淳（立教大学 教授）、畑野 快（大阪府立大学 准教授）、館野 泰一（立教大学 助教）、  
田中 聡（立教大学 助教）、武田 佳子（桐蔭学園 トランジションセンター 准教授）、  
登本 洋子（桐蔭学園 情報科教諭）、町支 大祐（立教大学 助教）  
＜2019年1月1日現在 順不同＞

また、第1期リーダー育英塾OBOGの成果報告会および情報共有会を、以下の通り開催する予定です。

#### 「リーダー育英塾カンファレンス2019」

- ・日程／2019年10月12日（土）
- ・会場／電通ホール
- ・内容／第1期リーダー育英塾OBOGの成果報告とディスカッション
- ・募集対象者／教育関係者および企業の人材育成関係者等 100名～200名程度
- ・募集方法／電通育英会ホームページにて募集予定

リーダー育英塾関連費 : (2019年度予算) 1,325万円  
(2018年度予算) 820万円

#### 4. 大学生を対象とした人材育成に取り組んでいる非営利組織への資金助成 <公益事業2>

学生を対象とした人材育成を目的として、インターンシップ、ボランティア活動、その他セミナー活動などを行っている大学内組織や民間 NPO 団体を主な対象として、活動計画を広く募集し、助成団体選考委員会にて書類選考・面接選考を行いました。

2019 年度は、「大学・学生枠」および「一般枠」の区分を廃止し、応募総数 36 件から選考された、合計 12 団体に各 100 万円を助成します。（上限 100 万円）

人材育成活動助成事業関連費 : (2019年度予算) 1,367万円  
(2018年度予算) 1,333万円

##### 2019 年度助成 12 団体

東京大学 UTSummer	UTSummer Hinohara 東京都檜原村での「対話型サマーキャンプ」
P.A.L Project 慶應義塾大学	P.A.L Project (Promoting Asian Leadership) アジアにおけるリーダー育成
NPO 法人 藤沢市民活動推進機構	社会を知るためのワカモノ× NPO インターンシッププログラム 2019
早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター公認 思惟の森の会	田野畑村での新たな域学連携の試み 「思惟の森プレイパーク」プロジェクト
NPO 法人 ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ ジャパン	Habitat Leadership Academy ユースコーチ研修 アジア太平洋地域でのリーダー育成
一般財団法人 教育支援グローバル基金	エンデバー2019 サマーリトリート 児童養護施設に暮らす高校生を対象としたキャリアサポートプログラム
柏の葉サイエンスエデュケーションラボ	各種講義と科学講座・ワークショップ等の実施 を通じた学生科学コミュニケーター 実践養成講座
学生団体 GEIL (ガイル)	学生のための 政策立案コンテスト 2019
一般財団法人 出版文化産業振興財団 (JPIC)	ワテラス・ライブラリーwith JPIC YOUTH 「本」を介した学生や地域とのコミュニティ
NPO 法人 日本教育再興連盟	教育に特化した被災地における プロジェクトベースドラーニングの実施
法政大学市ヶ谷ボランティアセンター VSP (ボランティア支援プロジェクト)	富士山外来種駆除ボランティア活動 富士山清掃・トレイル整備ボランティア活動
公益財団法人ジェスク音楽文化振興会	第 40 回霧島国際音楽祭 2019 マスタークラス関連コンサートに関して



2019 年度主要行事 年間予定表

	日 程	場 所
第28回理事会（決算）	6月7日(金)11:00～	帝国ホテル 松の間
第9回定時評議員会	6月24日(月)11:00～	帝国ホテル 松の間
第29回臨時理事会	6月24日(月)15:00～	帝国ホテル 松の間
大学奨学生選考委員会	7月上旬	電通銀座ビル 8F 会議室
第2期「リーダー育英塾」	8月17日(土)～19日(月)	クロスウェーブ船橋
大学院生・大学3年生セミナー	8月24日(土)～25日(日)	クロスウェーブ船橋
大学1・2年生セミナー	9月14日(土)～15日(日)	湘南国際村センター
リーダー育英塾カンファレンス	10月12日(土)	電通ホール
第20回資産運用委員会	10月18日(金)13:30～	電通銀座ビル 4F 会議室
第30回理事会（資産運用等）	11月15日(金)11:00～	電通銀座ビル 8F 会議室
奨学生の集い	11月16日(土)	電通ホール
2020 年		
助成団体選考委員会	2月上旬予定	電通銀座ビル 4F 会議室
第21回資産運用委員会	2月21日(金)13:30～	電通銀座ビル 4F 会議室
修了生交流会	3月14日(土)12:00～	帝国ホテル予定
第31回理事会（予算）	3月24日(火)11:00～	帝国ホテル予定